



「目ひょうたっせい」

皆野小3年

山口 真奈さん



わたしは、二年生で長なわをがんばりました。はじめで、長なわをした時は、あんまりとべませんでした。でもいっばいれんしゅうしているとだんだんとべるようになりました。そして、先生と百回をめざす目ひょうを立てました。その目ひょうをたっせいのうしめました。わたしは、「百回はやっばりとべないよ。」

と、思いました。でもできるといふ気持ちでがんばりました。

本番の時わたしは、「ぜったい百回いくよ。」と、前にいたひろとさんに言いました。

はじまった時、わたしは、むねがドキドキしました。

百回いけるかな、いけないかな…。さい後の方でわたしは、

「九十五、九十六、九十七。」とみんなといっしょに数えました。わたしは、友だちが百回目をとんだのを見ました。

「目ひょうをたっせいしたんだ。」

と、思いました。わたしは、みんなが

「やったー。」

と言ったよるこんでいるのを見ました。わたしは、「百回いったんだ。」

と、思いました。うれしかったです。

三年生では、みんなで力をあわせて、二百回できる

ようにがんばりたいです。

（評） みんなで力をあわせて目ひょうたっせいにむけてがんばったことがわかりやすく書きました。

皆野小6年

栗島 冬羽さん



があれに

（評） 字の特徴に気を付けて大きくのびのびと書きました。

小五 栗島冬羽

三沢小6年

福嶋 さとさん



考える子

（評） とめ・はね・はらいを意識していいねに書き上げることができました。

「結晶」

皆野中3年

吉岡 秀悟さん



（本人のコメント）結晶の力強さと光の反射を考えて製作しました。赤を足し、それらを強調しています。

「わらっているぼく」

国神小2年

新井 康平さん



（評） にっこり笑ったすてきなかおで楽しそう！

